



**三重県**  
**株式会社 キング観光**  
「地域医療現場への資金支援  
継続による基金及び現場表彰  
制度の創設」事業



株式会社 キング観光  
代表取締役社長  
権田 清さん

**三重県桑名地域で  
地域医療の中核を担う  
総合医療センターに  
継続的な資金支援を実施**

**地域の中核医療機関が抱える問題の  
解決に向けて継続的な支援**

日本では、2025年に、いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる。将来的に人口は減少し、高齢者の割合が増えていくことになるが、それに伴い、必要とされる医療サービスも変化せざるを得ない。そこで各自治体では、厚生労働省が定める「地域医療構想」に基づいて、地域全体で住民の健康をサポートする地域医療の体制を整えるための様々な取り組みを行っている。

その地域医療で中核を担うのが、いわゆる自治体立の総合病院や地方独立行政法人の総合医療センターなどである。これらの病院は自ら医療機関として質の高い医療サービスを提供するだけでなく、地域医療支援病院として近隣の医療機関や介護施設などを支えたり、災害時の拠点病院としての役割も担ったりしなくてはならない。しかし、そうした地域医療の中核病院では、医師をはじめとする医療従事者の慢性的な不足、財政的な経営難などの基本的な課題を抱えているのが現状である。

地域の中核病院が抱えるそのような課題の解決に向けて、継続的な支援を実施しているのが、三重県桑名市に本社を置き、三重県、愛知県、和歌山県、滋賀県にパチンコスロットホールを展開する株式会社キング観光である。同社では、三重県の桑名地区（桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町）の急性期医療を担う中核病院である地方独立行政法人「桑名市総合医療センター」に対し、2019年から毎年、資金支援を行っている。

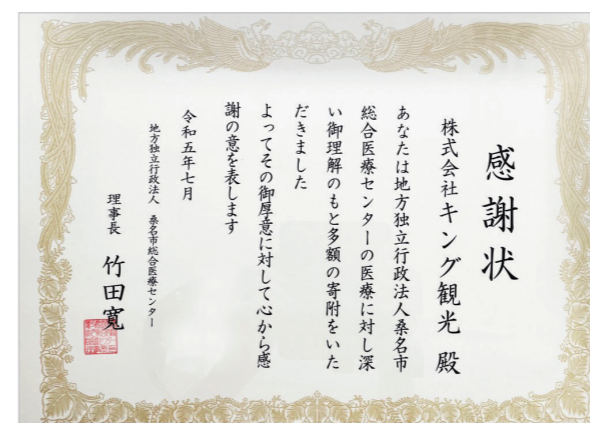
**寄付金を元手に創設された基金から  
院内表彰制度「病院貢献賞」を新設**

同社の支援は、2019年に死去した権田盛秀前会長の「市総合医療センターの医療に寄与したい」との遺志を受けて始まったもので、同年から2023年までの5年連続で、毎年1,000万円を寄付している。

2023年7月3日には、同センターを訪れた権田清社長に対し、竹田寛理事長から感謝状が贈られるとともに、「貴重なご寄付を毎年いただき、大変ありがたく思っております。いただいたご寄付は医療機器の更新など、医療サービスの向上・充実に使わせていただきます」という言葉が伝えられた。それに対し、権田社長からは「先代の遺志を引き継ぎ、桑名の地域医療を担っていただいている市総合医療センターの医療のお手伝いに少しでもなればとの思いで、毎年、支援させていただいております」との言葉があった。この模様は地元紙の記事としても掲載され、遊技業界の社会貢献意識の高さに対する地域住民の認知向上にもつながっている。

同センターでは、この寄付金を元手に、「権田記念」と称する基金を創設し、医療機材購入、入院患者へのケア、職員の士気高揚などに役立てている。また、2023年は、その基金から「病院貢献賞」という院内表彰制度が新設され、新しい取り組みなどに努力した職員やグループに対して表彰と賞金を贈ることを始めた。

2023年の5月8日には、その表彰式が同センターの講堂で行われ、新型コロナウイルスへの対応で高い貢献をした7階南病棟スタッフ、院内感染対策チーム、患者サポート室（医療通訳）の2チーム、1個人に対して、来賓として招かれた権田清社長から直接、表彰状と副賞が授与された。受賞者からは、「当初、コロナは未知の病気との戦いでした。不安や恐怖がありながらも、院内で一致団結して乗り越えることができました」と、感謝の言葉が告げられた。



市総合医療センターからの感謝状



「権田記念」表彰式と受賞者